

# 最上川

山形県倫理法人会  
広報もがみがわ  
平成29年5月29日 発行  
www.yamagata-rinri.net

vol. **49**

広報最上川 vol. 49



平成29年度会長挨拶 安藤 政則  
約束を守り、信頼の輪を築く p.2  
倫理経営企業訪問・えがおのげんば  
株式会社ライフステーション p.6-9

一般社団法人 倫理研究所  
山形県倫理法人会

【発行】山形県倫理法人会  
【発行人】安藤政則 【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏

# 山形に 寄り添って

ESSAY 有坂方面長 発 ③



この原稿を執筆したのは4月3日(月)です。その前日、自宅近くの商店街へ妻と一緒に買い物に行く、八百屋ではフキノトウやコゴミ、タラの芽が並んでいました。「美味しそうだなあ」と最初は食べることに考えませんでした。ところが、最初の山菜を見ながらフツと頭に浮かんできたことがありました。それは、約20年前の山形での思い出でした。

その時は山形の祖母の法事に参列するために、家族全員で母親の実家に来ていました。3月の中頃のことです。法事を終えてから母親に誘われて、私はお寺近くの川の土手の周辺を散歩をしました。母親と一緒にゆっくり歩くことなど20歳を過ぎた頃にはほとんど無かったので、チョッピリ恥ずかしかったのですが、まあ、久しぶりだから、いいかあ……と思い直して土手に向かいました。

しばらくは、お互い会話もせず無言で歩きましたが、突然母親は「あっ！ 宏、あそこ見て」と言い出したのです。その指差す方向を見て、私には「土手に生えている葉っぱは、あそこ……としか分りませんでした。」  
「お母さん、何かあるの……？」  
「ほら！ あそこだよ、あそこ！！」  
母親は一所懸命に土手の草を指差して言うのですが、それでも私には何も見つけられません。どうとう母親は土手に降りて、その植物の近くまで来ました。  
「ほら、これだよ」と、その指先にあったのは、小さなフキノトウでした。  
それから母親は、自分が幼かった頃の思い出を語ってくれました。川原や土手で兄弟と遊んだこと。春先には姉妹でたくさんの山菜を摘んで家族を喜ばせたことなど。  
その話を聞きながら、今まで知らなかった母親の姿にふれた感じがしました。  
春の訪れと共に「フキノトウだけじゃなく、お母さんはいろんなことを教えてくれたよなあ」と、あの時の思い出が再び心に廻ってきました。  
山形で体験した出来事が、人生上の大切な一ページとなっていることに、改めて気づかされた今日この頃です。

一般社団法人倫理研究所  
法人局普及事業部 次席  
北海道・東北方面 方面長  
有坂 宏一

東京都出身  
1994年 社団法人倫理研究所に入所  
富士高原研修所で2年間の研修を受ける。  
1996年 出版局編集部 配属  
『新世』『倫理』などの編集にあたる  
1998年 生涯開発局企画部 配属

2001年 法人局教育業務部 配属  
2002年 総合教育企画室 配属  
2004年 研究局研究部 配属  
2005年 4月 法人局普及事業部 配属  
以来九州・沖縄、東海・北陸、中国・四国担当を経て  
8月 法人局普及事業部  
北海道・東北方面方面長 …現在に至る



発行 山形県倫理法人会  
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47  
TEL.023-647-5582  
FAX.023-646-7660  
www.yamagata-rinri.net  
発行日 平成29年5月29日



## 編集後記

山形県倫理法人会  
広報委員長 五十嵐久仁子  
今号も無事発行ができました。取材や寄稿にご協力くださった皆様ありがとうございました。  
先日の県役員会での事。有坂方面長が「嬉しい報告があります。北海道の某SVが霞城倫理法人会菅野会長は素晴らしい！と褒めていました〜」とお話されました。新単会なので役員も初めての方が多い中、質問が寄せられるたびに「丁寧に、ブレることなく」対応していたとの事。私も入会してで広報副委員長を拝命した時、当時の菅野委員長に丁寧に伝えて頂いた事を思い出しても共感しました。「丁寧に、ブレることなく」。倫理でも会社でも、心がけていきたいと改めて思います。

## 山形県倫理法人会青年委員会主催「倫理青年の集い」開催

- 開催日/平成29年6月23日～24日
  - 参加費/6,000円(1泊3食付き)  
・昼食のみ懇親会のみも選べます。
  - 会場/大進坊
  - 募集人数/30名
  - 内容  
・山伏ポークBBQ  
・先達山伏の案内で羽黒山散策  
・山菜精進料理の懇親会 など
- ご参加お待ちしております！

詳細は各単会  
青年委員へ  
確認ください

# 約束を守り、 信頼の輪を築く

山形県倫理法人会会長 安藤政則



今年度に入ってから9ヶ月、約三分の二が経過しました。今期より、役員会の前に佐藤県朝礼委員長にお願いし役員朝礼を行っています。徐々に呼吸が揃ってきました。忙しい中、大事な時間を割いて参加される役員の皆様には、



この県役員会で基本をしっかりとマスターして頂き、是非単会に持ち帰って朝礼を良い方向に変えて欲しいと思います。

そして当初計画した様々な事業も終わりに近づき、締めをどうするかを考える時期に入ってきています。それぞれ役の引き継ぎを行う際には「締まりの良い状態」で引き継いで欲しいと思います。

憲章の役員心得2番目「約束を守り信頼の輪を築きます」という言葉が今まさに心に響いております。

約束を守るといえるのは、誰に対しての約束なのか。

それは自分自身に他なりません。自分で立てた約束を自分で守ること。それが成功の秘訣だろうと思います。約束を守るためには、しっかりとした計画を立てて一歩一歩進むことが大事です。

2月4日に行われた北海道・東北方面方面会で各単会会長による中間報告会で決意表明をいただきました。山形市中央倫理法人会の普及活動と成果の報告を聞かれた青森県倫理法人会森越会長が、考え方や捉え方、方法などを学びたいという事で、4月26日、27日、一泊二日の研修に来られました。青森県役員、単会役員の皆様23名と懇親会、翌日は全員モ-

ニングセミナーへも出席され、大変喜んで青森へ戻られました。

青森県は人口130万人で倫理法人会会員数は630社との事。山形県は116万人で1630社と、全国でも上位の倫理普及率です。今後も倫理実践の情報交換を行い、同じ東北の仲間として共に頑張ろうと思います。

5月で倫理講演会は終わり、今年初の試みで庄内と山形市で開催した女性倫理講演会も成功に終わりました。6月は県内レクチャラー研修会、MS研修会、23日には「倫理青年の集い」が予定されています。

そして年度の締め、8月8日は1650社達成祝賀会を開催します。

県の一番の約束事である1650社に向け、現在、あと15社という所までできていますが、これと同時に、各単会が立てた目標を達成し、全員で祝える日にしたいと熱望しております。あと3ヶ月どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



Rinri Network no.126の表紙に最上川舟下りが紹介されています。(有坂方面長の強力なご推薦!)  
新庄最上会員の最上峡芭蕉ライン観光株式会社様の記事も掲載されていますので是非ご覧ください。

# 感動多き 富士研へ

27名  
参加!

平成29年度経営者倫理セミナー報告

富士研とは、倫理研究所富士研修センターで行われる、経営者倫理セミナーの略称です。今年度は2月3日～5日の二泊三日、2月2日から前泊で総勢27名が参加しました。他県を含む全員をまとめる集合リレーに庄内中央研修委員長の堀さん、その他チームリーダーでも初参加の3名が選出されるなど、山形県勢が大活躍の研修でした。



## 富士研の魅力

今年で4年連続となった富士研(経営者倫理セミナー)。思えば初参加時、安藤会長が県研修委員長として参加者の募集を頑張っていた時です。私は、鶴岡市倫理法人会の研修委員長をしておりましたが、まったく行くつもりもなく、「行った人を見ますが、何にも変わってないじゃないですか!」などと軽口を叩き、安藤会長を本気で怒らせてしまいました。結局はそれがきっかけで「お前みたいな奴が行くべきだ」と無理やり参加させられたのでした。

しかし、御殿場の富士教育センターに行ってみると、このセミナーの素晴らしさを心の底から味わうこととなりました。この感覚は4年経った今でも同じ様に感じます。

毎回感じるのは「倫理のりの字も解ってない」ということです。いかにも解っているような倫理ですが、誤解している事がとても多いのです。即行などと言っていい気になっていることが、実は単なるセツカチであったりなど、富士研にはそういった誤解を修正してくれる働きもあります。

富士研について、言葉で説明することはとても難しいです。昨年、小学生親子セミナーで一年生の長男と夏の富士研に行きました。長男は最終日涙を流していました。「こんな小さな子供でも何かを感じて涙を流すのか」私はそう感じました。研修所の入口は建物に不釣り合いなく小さくて地味です。これは、茶室をイメージしているとの事でした。茶室に入る時は、身分や肩書を全て捨てて入るといふ習わしがあるそうです。どんなに経験を積まれた方も、たとえ小学一年生でもここに入れば皆同じ、そしてその人にとっての学びがある。これが富士研の魅力だと思います。

今回参加に当たってご支援・ご協力頂きました倫友の皆様へ心より感謝いたします。

山形県倫理法人会 研修委員長 小林秀樹



## 富士研セミナー ご受講の 皆様へ

2001年、富士高原研修所オープン。丸山理事長が設計者・内藤廣氏と共に本間利雄名誉会長ご夫妻を富士研にお招きして一晩お泊りいただいたことがあります。当時、私が山形県の担当だったために同席させてもらえたのです。歴史的な場面に立ち会えたことを今でも誇らしく思います。まさに夢のような出来事でした。

その後、だいたい1月末ごろから2月初頭に、山形県から集団で経営者倫理セミナーのご受講いただけるようになったと思います。私が2007年から富士研の担当になって、山形県はでん六の鈴木隆一会長の時代でした。会長自ら3年連続で滝行に挑戦されたことが忘れられません。厳寒の滝行を終えられ、森の歩道を帰る途中で見た木漏れ日に涙があふれたと語ってくださいました。

あれから山形県倫理法人会の皆様富士研においでいただくと、不思議と館内が凜とした空気になる気がしてなりません。静かで、深い「気」が漂うのです。

安藤会長の体制になり、ますます充実する山形県倫理法人会。セミナーご受講から100日後の実践報告会を開催されているという話は、他県では聞いたことがありません。大変有難く、尊いことです。

皆様の受講感想を拝見する限りでは、皆様とても感動を深めておられますが、その背景には、富士研の素晴らしい建物で、私たちは何を求め、何を学ばねばならないのかという思想と哲学が、本間利雄初代会長時代から、脈々と山形県の会友の中に息づいているからだと思います。

これからも、この報告会を契機に皆様の実践に磨きがかかり、企業・家庭の隆盛を通じて山形県の経済界のみならず、伝統的な文化を支える大切な一人ひとりになっていただくことを信じてやみません。

平成29年5月5日 創始者生誕の日に  
富士教育センター 鈴江 章

今回は3年目で3回目の参加でした。参加する気は全く無かったのですが周りの方のすすめで仕方なく参加しました。でも今回が一番深く菜の意味を感じる事ができました。2つの実践目標を掲げましたので、この2つを続けていくことにより、自分が体験した事を他の方にお伝えしていけるよう頑張ります。ありがとうございました。

／天童市倫理法人会 加賀善子



参加してとても良かったです。自分の持っているくせや課題について、心から理解すること、仲間と共に物事に取り組み、互いに理解を深め共鳴しあうこと、非常に理解を深める事ができました。チームリーダー、臨時で集合リーダーも務め、全体の一致と調和がこれほど美しいものなのかという発見もありました。この学びと実践を半年間続け、本当の私の力とできるよう、実践を続けて行きたいと思えます。

／天童市倫理法人会 佐藤宏太

今回初めて参加しましたが、参加して本当に良かったです。富士研は企業人としてのセミナーというよりは、家庭人、人間としての生き方を教えていただきました。自分がどれだけ恵まれていたか、家族から協力してもらってきたか、もっともっと感謝しなければいけないと思えました。これからの生きていく道しるべを教えてください、ありがとうございました。

／鶴岡市倫理法人会 T.M

肉体的にはとても疲れましたが、精神的には充実しています。何か変わったか？と言うと、正直今のところは実感がありません。今日からの生活の中での行動次第でその進化が問われるのだと心がけて行きたいと思っています。

／山形市中央倫理法人会 M.Y

3年空けて3回目の参加でした。いろいろと感じました。1回目、2回目とも違う体験ができました。今回は、大切なものを気づかせてもらいました。産み育ててくれた両親先祖、大事にしたいと思えます。実践の誓いを3つ書きましたので、半年間続けたいと思えます。

／長井市倫理法人会 遠藤浩樹

初参加でしたが、愉しめたセミナーでした。傾聴と両親への感謝という自身へのテーマで臨みました。心の蟻が抜けた感じになり、ちょっと肩の力が抜けた気がします。まだまだやってたつもり、わがままな自分に気づきました。また、時間をかけて、内観する時間、空間があり、とても貴重なものとなりました。なれあいではない優しさ、責め心のない厳しさを持って、大切なものを大切に生きる生き方をしたいと決意しました。

／天童市倫理法人会 中村友祐



「富士研はいいよ!」と周りの先輩方から言われて参加しましたが、「3日間でそんなに気持ちが変わるのだろうか?」と思っていました。今では、他の富士研に行った事が無い方に「富士研はいいよ!」と言いたい気持ちになりました。富士研での学びは「感謝の気持ち」だったと思います。これは富士山を見るときに感覚と似ていると感じました。初めて見る富士山や時々見る富士山は感動的なものでした。ただ日常にありすぎると、その気持ちも薄れていきます。それは、両親や、大切な人、食や物も一緒。近すぎて見えなくなっていたものを富士研を通して見えるようになり、涙が出ました。この気持ちや実践を帰ってから日常に戻った後も続けていきたいです。

／長井市倫理法人会 丸山昂

4回目にしてやっと素の自分と向き合えたと思う。研修はこれまで以上に練られており、チームのメンバーにもめぐまれたからだを感じる。この冬の富士研をいつも意識して一年を過ごすようになり、自分自身でも自信を持って生きられるようになった。今回は40才を目前に参加した。若い人たちの考え方や行動力に感動し、自分もモデルとしての力が求められる事を強く考えさせられた。一つの笑顔で相手を勇気づけられる事を知り、私もそんな笑顔の達人になると心に決めた。

／鶴岡市倫理法人会 小林秀樹

初めて富士研に参加させていただきましたが、富士山のふもと、大自然の中、しかも初日から最終日まで快晴に恵まれてまず心が晴れやかになりました。また、研究所の職員の方々による胸に迫るような感情豊かなご講義によって、初日から「しっかり学んで何かをつかんで帰りたい」という意欲が改めて湧きました。この3日間で体験したセブナクトを実生活でも実践し、幼い頃に持っていた素直さ(ありのままそのまを見る、聞く)を思い出して、まずは自分が変わる。そして常に自分は生かされているのだという謙虚さと感謝の心、行動を忘れずに実践して、大切な人を幸せにすると共に、世のためになるようなことを一生の中で一つでも成し遂げて行きたいとの気持ちになりました。

／北村山倫理法人会 M.N

昨年に引き続き参加させていただきましたが、また去年とは違った学びを得ることができました。特に大切なものを大切に生きていくかとの質問には、深く考えさせられました。大切なものがいつまでもそばにあるとは限らない。この一瞬一瞬を大切にしていかなければ後悔する、そんな思いになりました。これからは「大切なものを大切に」生き方をしよう決めました。また来年も行きたいと思っております。

／鶴岡市倫理法人会 伊藤暁生

精魂尽き果てました。やり切った感じ。最年少の丸山リーダーの元、それぞれが自分の立場や出来る事を出し合い、あいざつテストも初日合格でした。研修内容も普段の生活で体験できない深さ、命やその先にあるものを体験できました。今度は体調を整えてまた参加したいです。

／山形市倫理法人会 K.T

終ってみてこんなに清々しい研修というのは初めてかもしれません。次はチャレンジコースに挑戦したいな~と思いました。本当に班の仲間、山形の仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。素晴らしい経験をありがとうございました。

／山形市蔵王倫理法人会 伊藤健二

お酒で車内がうるさくなることもなく、楽しく参加することができた。

／酒田市倫理法人会 佐藤優

10年振り3回目の参加でした。時代の移ろいと共に富士研の内容も少しずつ変わっている事を感じました。易不易、変ってはいけないもの、時代に合わせて変わっていくものがある訳ですが、今回の富士研、これまでで最高の感動を味わうことが出来ました。近年、たて続けに4回の入院を繰り返しました。近代医学だけでは解明できない己の生き方にも問題があるのではと考えての参加でしたが、解決の道標を見つけたことが出来た研修でした。機会を作っていただいた研修委員会の皆様に感謝です。

／山形市倫理法人会 佐藤敬一

## バス移動は「内観」の時間となり、帰りのアンケートでは研修直後の熱い思いがたくさん寄せられました。

10年振りに参加致しました。以前はもう少し厳しかったが今回は何とか全部きちっとセミナーを受講出来ました。東京のレクチャーと5年振りに同部屋になりました。改めて自分、家族を見つめ直せた事、良い環境、良い仲間作り、良い地区作りに尽力して参りたいという気持ちになりました。2年後、2月第一週に東京で同窓会をする約束をして参りました。

／山形市中央倫理法人会 布施富将



初めての参加でありましたが、非常に的を射た内容でした。私はこれまで専門職としての技術面での向上に努めてまいりました。しかし、人間としての根の部分为原则とした、人格の向上の部分がおろそかになっていたように思います。社会は今ストレス社会と言われ、個人の能力以前にブレない強い精神が必要です。日本は無宗教に等しいと言われてはいますが、今の世の中には信仰するものが必要だと思えます。倫理は現代人が忘れて、生きる方向性を導いてくれるものだと思います。便利な世の中だからこそ、人格の育成に関わるスキルアップが求められてくると思えます。過去を悔やまず、未来を心配せず“今”を生きることが大切だと思うようになりました。

／鶴岡市倫理法人会 阿部英明



私は難聴で、チームの皆さんに大変御世話になり有難うございました。倫理は真摯な言い方で反対の言葉が偽善者です。真摯に富士研を受講される方は神に近い人です。今回で6度目です。豊前市の丸山敏雄先生の生家のお墓参りも行き、モンゴルの植林にも行き、出羽三山の山伏修行も行きました。すべて自分の為です。私にとっては遠回りの道とは思いません。富士山は「動かざること山の如く」です。富士山に抱かれて3日間の研修、ありがとうございました。学びを深く実践実行し、一つずつ結果を出します。

／米沢市倫理法人会 坂野昭一

三回目の参加になります。行きはいつものような飲み会もなごうなることかと思いましたが、小林研修委員長や佐藤副幹事長の計らいで長時間のバス移動も有意義な時間となりました。毎回チームメンバーに恵まれ、その中でリーダーに感動いたしました。静かなリーダーシップ、目指したいと思えます。

／天童市倫理法人会 佐藤圭子

# えがおのげんば



■ えがおの人  
長井市倫理法人会 副会長  
**高石 一夫** 氏  
昭和35年 東京都生まれ  
血液型 B型



■ えがおの現場  
**株式会社 ライフステーション**

[代表取締役] 高石一夫  
[創業] 昭和63年  
[所在地] 長井市今泉563-11  
[事業内容]  
損害保険代理業  
〈取扱損害保険会社〉  
東京海上日動火災保険株式会社  
生命保険募集に関する業務  
〈取扱生命保険会社〉  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社、オリックス生命保険株式会社

損害保険の代理店として、「あんしん」を笑顔で届けたい」という思いで日々経営されている高石社長。これまでの道のりの中で決断を迫られたとき、自衛隊で築いた仲間の支えと倫理の教えがありました。

## 人生の転機となった二度の火事

私の人生の転機には必ずと言っていいほど「火事」が存在します。一回目の火事で長井市に引っ越してくることに、二回目の火事は今の仕事に就ききっかけとなりました。私は生まれてから7歳まで東京で育ちました。指物大工をしていた父はとにかく腕の良い職人だったらしく、「美空ひばりと小林旭の婚礼家具をつくった」というのが唯一の自

慢でした。(笑)ところが、小学校に入ってしまったんです。家が放火されてしまったんです。私は三階の部屋から飛び降り無事でしたが、火傷を負ってしまいました。そのことがあり、母親の実家のある長井市に引っ越して来ました。当時、父親は保険に入っていなかったため、まさに無一文状態。引っ越してはきたものの、私は「東京から来たもやしっ子」ということでいじめられる毎日。東京では制服だった蝶ネクタイにサスペンダー、そして白いタイツ姿

格好のいじめのターゲットだったわけです。校内のマラソン大会があったときは、みんなに負け込むために意地でも勝たなければと思い、とにかく練習しましたね。結果は見事優勝！それからは友達との距離がぐっと縮んでいきました。

自宅に戻ると、祖母が燃えた後の畳を雑巾がけしながら、私に「お前の帰る家無くなったじゃあ。」と悲しそうに言った光景を今でも鮮明に覚えています。そして、「戻って来らんねのが？」とも。祖母の姿に、自衛隊を辞めて実家に戻ることを決意しました。これが二回目の火事による転機です。辞める意思は固かったものの上司からの説得もあったので二年後に退職。その後のことについて保



## 保険業界に進んだものの…

24歳の時に東京海上の外務研修員になります。ところが、知り合いが立ち上げた会社の連帯保証人になってしまい、約1000万の借金を負ってしまいました。すでに結婚をして子どももいたので借金を返すために

険の代理業をしていた先輩に相談したところ、「やりがいのある仕事だから」と勧められたのが現在の仕事です。長井の家の火事の時は保険に入っていたので、東京の家の時のような思いをしなくて済みました。それだけに保険の有難みを身に染みて感じていたし、人を助ける仕事だと思えましたね。



必死に働きました。その話が自衛隊内部に伝わり、当時の仲間たちが保険に入ってくれたんです。自分に利益がある商品よりも、後々お客さんに感謝してもらえそうな商品を勧めよう：仲間に感謝しつつ、そう思いました。

## 倫理との出会い

倫理法人会との出会いは10年前のこと。取引先のサンノ企画印刷の

社長に誘いを受け、当時県の会長だった熊谷眞一さん（現シベール特別顧問）の講話を聴く機会がありました。「成果＝才能＋努力×ものの考え方」いくら才能があり、努力してもものの考え方が0（ゼロ）であれば



お客様が通る社内スペースには、簡単に設置できるダンボールの壁。同じ倫理の仲間、加藤紙器さんによっていただきました。

成果も0！インプットされた情報に何をかけるかが大事なんですよ。という教えに感銘し、設立したばかりの長井市倫理法人会に入りました。

### 「何も考えないで受け入れてやれば必ずいいことがある」

入会した頃、保険業界では個人経営の代理店が多かったため、全国的には個人代理店をまとめる「法人代理店による中核代理店構想」が進められていた時期でもありました。この地域のまとめ役として私に白羽の矢が立ったことから、私自身、とても悩んでいました。そこで、法人アドバイザーに相談したところ、丸山敏雄先生の言葉を引用したうえで「何も考えないで受け入れてやれば必ずいいことがある。だからやってみなさい。」とアドバイスをいただいて。その言葉に背中を押され、個人代理店たちのまとめ役となり、2009年に社名を変え中核代理店としてスタートしました。その後は事業成績も順調に伸び、東京海上日動の本部から「TQ（トップクオリ

ティ3）」という最高評価をいただけるようになったんです。

### 「保険業界ではあり得ないのれん分け」

ところが、いざ最高評価をいただくと、それまで同じ方向を向いて走ってきた社員たちが別々の方向へ気持ちがいってしまっていたのです。私はTQ代理店の経営者として全国の代理店を回りながらアドバイスをしていく立場になり、忙しい日々の中で、話し合う時間がなく、社員の気持ちに気づくことができなくなってしまいました。「社員が辞めれば、契約してくれているお客様に迷惑がかかる」と思った私は、保険業界では許されていなかった「のれん分け」を決断しました。このことは他の代理店から批判を浴びましたが、「のれん分け」した会社も同じように倫理を学んでいることもあり、変わらず良い関係を繋ぐことができてい



ます。あの時の判断は間違っていないかと、今でも思います。考えてみると、倫理を学んでいなかったら社内の組織がバラバラになっていたかもしれない。苦難を受け入れることを教えてもらい、困ったときに倫理指導を受けたり、仲間に応援してもらいながら立ち上がる。ことができたのは倫理のおかげです。自分が変わることで相手も変わっていくことを実感しています。

### 接客業の基本は「笑顔で返事」

活力朝礼を取り入れるようになってから社員の返事の仕方が変わってきました。唱和を聞きながら、社員

のその日の体調に気づくこともあります。

社員を採用するときの条件は「笑顔で返事のできる人」。接客業は第一印象が大切です。業務については入社してからでも勉強できますが、「笑顔で挨拶できる」というのはすぐに身に付くものではありませんので。

### 人を育てることを目標に

最近思うのは、原点に戻って後進を育てていかなければならないという事です。

アドバイザーとして全国を回ると、スーパーセールスマンだった社長が社員に対して「こんなこともできないのか」と言っている現場を目にすることがあります。私も自衛隊の

時からずっとトップランナーとして走ってきたので、自分と同じように社員もやれると思ってしまっているところがあり、そこは反省しなければいけないところだと思っています。ついつい私のほうから動いてしまうことがあるのですが、社員の話も「聞く」ではなく、「聴く」を意識しようという心がけています。それぞれを尊敬し合うことができ、価値観を共有している社員たちに仕事を任せながら、同じ方向に進んでいきたいです。

### 新しい連携で、お客様ファースト

同業種金融関係や他の生命保険会社など、どちらかと言えばライバル関係だと思っていた企業との連携



リバーヒル長井 太田理事長へ車椅子寄贈。社会貢献として、毎年、介護老人施設に車椅子を贈っている。

を積極的に行っています。お互いに情報交換をしながら、それぞれのメリットを生かしつつ地域開拓をしていくことで相乗効果が生まれます。結果としてお客様にも喜んでもらえることに繋がりますから。

### 「ライフステーション」の改札を通ったお客様を幸せに

法人化した当初は私と妻と女性2人の4人だけでした。社章をどうしようか考えていたものの、なかなか思い浮かばずいたんです。私はいつも枕元にノートと筆ペンを置いているのですが、ある夜、咄嗟に思い

ついたのが現在の社章。自分でも驚くほど突然のひらめきでした。(笑)「高石」と「東京海上日動」のTをいちばん左に置き、「4人の心を一にして」という思いを込めて右側に大きな点を4つ書いて並べてみました。すると、意外とバランスが良かったので、これを土台にみんなで決めました。社名を決めるときもいろいろ考えましたね。「ライフステーション」という駅の改札口を通り、同じ方向に進む電車に乗っていただくようなイメージ。この電車に乗っていただいた人を幸せにしたい、お客様の将来を担っている大切な仕事だという思いを忘れずにいたいと思っています。

以前、この辺り一帯が田んぼで県の食糧倉庫があったので、今でも「ライフステーション」と間違ってお米を買いに来る人もいますよ。(笑)

### 長井市法人会について

会員同士が仲良く、会の雰囲気もいいです。仲良し過ぎて他の人が入りにくい環境にならないようにしたいといけませんね(笑)

### OFFの過ごし方は？

ほとんど仕事ですね。あとはたまにゴルフに行ってます。今年は健康のため、妻も連れてゴルフを楽しみたいです。



各単会ではいつでも  
皆様を温かくお迎えます!

# 単会通信

PICK UP 15

モーニングセミナー以外にも  
会員同士の交流の場がこんなに  
沢山! 活力に満ちた活動や、  
気づきの実践をご紹介します。

## 庄内ブロック

- 酒田市倫理法人会
- 鶴岡市倫理法人会
- 庄内中央倫理法人会

## 村山Bブロック

- 天童市倫理法人会
- 寒河江市倫理法人会
- 新庄最上倫理法人会
- 北村山倫理法人会

## 村山Aブロック

- 山形市倫理法人会
- 山形市蔵王倫理法人会
- 山形市中央倫理法人会
- 山形市霞城倫理法人会

## 置賜ブロック

- 米沢市倫理法人会
- 上山市倫理法人会
- 長井市倫理法人会
- 南陽市倫理法人会

## 山形市蔵王 倫理法人会 イベント報告

### 倫理経営講演会 と3月11日の 思いで

広報副委員長 渡辺英一郎



山形市蔵王倫理法人会では、今年度も3月10日に278人と、いう多くのご来場者を迎えて、山形ビッグウイングで倫理経営講演会が開催されました。事業体験報告は若手県倫理法人会の相談役 又川俊三氏でした。6年を経た今でも風化する事の無い東日本大震災の話や動画が披露されました。当会でも6年前の3月11日はまさに倫理経営講演会を開催しようとしていた日です。当時の思い出と共に感動的なお話を伺うこととなりました。また、講演は法人局普及事業部の和田毅部長でした。「純粋倫理と倫理経営」という話に始まるわかり易く理路整然とした講演は、倫理経営講演会のテーマだけでなく、改めて倫理法人会で学ぶことの意義を確認する機会となりました。

## 庄内中央 倫理法人会 気づきの報告

### 「二期一会」に 魅せられて。

専任幹事 阿部敦



13年前、青年会議所の門を叩いた時に一番最初に私に声を掛けてくれた人物。当時その人物は「おめさん何処から来たなや?」とまだ会に入会したばかりで友達も少なく、話す相手も居ない私に今とまったく変わらない満面の笑顔で接してくれた。純粋に「かっこいい」と思った先輩。憧れの先輩に少しでも近づきたいと青年会議所運動を展開。40歳で卒業してから新しいワールドで活躍しているその人物に再会した。あらゆる機会を自分のチャンスと捉え、奮闘している姿が13年の時を越え、また更に「かっこいい」と思えた人物。そして出逢いと再会に感謝した瞬間だった。その人物から「あべべ! (私のあだ名) おめさん専任幹事してくっちゃー!」と新たなチャンスを頂いた。その人物は庄内中央倫理法人会 小野木重弥会長であり、「二期一会」に覚悟を持って人物である。



## 長井市 倫理法人会 倫理実践の報告

### 箸置きの実践

MS副委員長 丸山昂



私は2月から「食事の時に箸を置いて食べる」ことを実践しています。2月に富士研に参加したときに日本の良き作法として食事で行っており感銘を受けて今でも続けています。最初は箸を置いて食べることに違和感を持ちながらでしたが、今では箸を置かないと落ち着かないほどです。箸を置いて食べることには3つの気づきがあります。一つは、食事に対する感謝です。食べ物をより美味しく感じる事ができます。二つ目は、落ち着いて食事をとることができることです。三つ目は、家族の会話も広がるということです。ただ箸を置くという行為でここまで世界が変わることを実感しています。そして、箸が落ち着いて休める場所、それが箸置きだと感じています。なので、私は、富士研以降マイ箸置きを常に持参しています。倫理は実践なので富士研で得たものを「良いことを学んだ」というだけではなく「常に実践していいこと」という気持ちでこれからも生活していきます。

## 天童市 倫理法人会 イベント報告

### 実践の基盤は倫理

広報委員長 高橋啓一



4月18日天童温泉ホテル王将に於いて、倫理経営講演会が、約70名のご参加をいただき開催されました。先だって事業体験報告として、山梨県倫理法人会監査の堀内薫様より「まちづくりの大苦難を克服した戦略と直観力」と題しお話を、続いて倫理研究所 法人旭参事の三上忠男様より講演をいただきました。今回の講演では、日頃のモーニングセミナーでの倫理を体得することが基本の原理で、まさに自己潜在意識を呼び起こし、実践することが肝要という事を改めて体得できました。これから実行する場面で、それを意識しながら活用して行ければと思います。この度は皆さま方から多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。目標の100名には及びませんが、お陰様で大成功の裡、閉会させていただきました。

## 北村山 倫理法人会 イベント報告

### 新酒を楽しむ会

広報委員長 菊地仁士



去る平成29年3月14日(火)に天童&北村山倫理法人会の合同イベントとして、毎年酒好き達お待ちかねの「新酒を楽しむ会」が東根の人気店心月さんにて、多くの方のご参加を頂き盛大に開催されました。今回のお酒は寒河江虎屋酒造様の銘酒千代寿。5種類(最終的には6種類)の新酒をお持ち頂いて、贅沢な飲み比べを行いました。その銘酒のお供は心月さんの美しい和食料理。なんて贅沢な組み合わせなんですよ。皆さん顔を真っ赤にして、笑顔笑顔の連続でありました。ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」。まさに世界遺産を満喫できた貴重なひと時になったわけがあります。来年も多くの皆様をお待ち申し上げております。



山形市中央  
倫理法人会  
倫理実践の報告

笑顔のハイタッチと  
オリエンテーション

今年度、会長を仰せつかるに当たり、これからの10年、15年を目指すために、毎年少しずつ新しいことに挑戦し続けていけるような1年にしたいと考えました。

今年度は「モーニングセミナーでの笑顔のハイタッチ・笑顔の握手」と「新会員様向けのオリエンテーション」を新たに実践しております。笑顔の：は、モーニングセミナー会長挨拶時に参加者様のご協力の下、継続中です。倫理の大先輩の五十嵐勇次様から「倫理は凛とした雰囲気、魅力だが、和やかで温かみのある笑顔も大事。メリハリをつけてみてはどうか」とアドバイスを頂戴致しました。最初はドキドキでしたが、今では私の楽しみになっております。

オリエンテーションは、新会員様がモーニングセミナーにご参加された際の朝食後、約15分位で完了するスタイルです。あまり構え過ぎずにや

り続けることが大切と考えております。

（山形中央のこれから）を歩み続けるための「さらなる新」を創り、初代布施富将会長様、二代目新田裕之会長様の想いを継承し、仲間が栄え続けられるように今後とも頑張っておりますので、ご指導よろしくお願ひ申し上げます。



会長 松田浩



南陽市  
倫理法人会  
イベント報告

倫理経営講演会を終えて

去る、4月17日「倫理経営講演会」が熊野大社 證誠殿にて開催され、65名のご参加をいただきました。昨年より20名ほど参加者が少なかったのが残念だったのですが、南陽高校生の出席、若い経営者の方のご参加が多かったのが今回の特徴だったと思います。例年ですと、他の単会の倫理の会員さんを期待するのですが、私は、長井市倫理法人会さんだけでは出席のお誘いをしたのですが、他の単会には出席要請をしませんでした。ただの出席の数合わせではなく本物の聴衆者（勉強したい方、興味がある方）しかも地元の意欲ある経営者をおよびしたかったのです。そして、何かを感じ共感してもらって、今後の経営ならび人生のヒントにでももらいたいと思っただけです。来年は、もっと少数動員50名くらいの本物の経営講演会（これからの若い経営者たちの集まり）にしたいと思ひます。



会長 飯塚一博

さて4月ももうすぐ終了、残り4か月どのように今後自単会を運営していくかを模索する時期であります。色々と問題点が出てきている単会ですが、どうぞあたたかい目で見守っていただき事を期待申し上げます。



米沢市  
倫理法人会  
イベント報告

倫理経営講演会の開催

広報委員長 鈴木総一

当単会の倫理経営講演会が平成29年4月19日に盛大に開催されました。

まず、事業体験報告では法人局参事 法人レクチャラー 由川久子様より「全て出会い・今に生きる」というテーマで講話頂きました。過去にあった経営の危機をたくさんのお会いや、ご縁で乗り越えてこられた貴重な体験をお聞かせ下さいました。その中で「やればできるやる気があれば知恵も湧く」、「モーニングセミナーは自分を軌道修正する場」というお言葉が印象に残りました。

また、講演では同じく法人局参事 法人アドバイザーの佐藤光央様より、「大転換の時代！新に挑む」というテーマで、家業の後継者として就任してから、苦悩・苦難を経験しながら現在のオンリーワンの経営を構築されたエピソードをご講話頂きました。「役を任せられることは、人の繋がるチャンスを頂いていることだ」、「倫理の実践の場はどこにでもあ



山形市  
倫理法人会  
イベント報告

倫理、  
特別モーニングセミナー報告

広報委員長 国島潤一

倫理経営講演会が2月27日メトロポリタン山形にて、法人スーパーバイザー 小山久雄様の講話と朝礼実演の2部構成で行われました。朝礼実演では当会选择メンバー、(株)サニックス様、(株)アサヒマーケティング様の3チームによる実演となりました。各チームとも練習をして臨んだとはいえ、出席いただいた方に素晴らしい実演を披露できたのではないかと思います。特に(株)サニックスチームでは佐藤社長自ら実演に参加され、メンバーに声を掛ける姿には感動しました。



また、4月4日には特別モーニングセミナーが行われ、「環境は自分が創る」と題し(株)資生堂顧問 根近子様の講話をいただきました。店頭販売員時代の苦労話、そして顧問にまでなれた出来事など聞かせていただきました。やはりキーワードは「考え方」だと思いました。普段倫理で学んでいるようで、つい忘れてしまう自分が恥ずかしい気持ちになりました。他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる。それをまさに実践されたからこそだと。まだまだ実践が足りないことを痛感したセミナーでした。また皆さんと多くの気づきを得たいものです。



山形市霞城  
倫理法人会  
取組みの報告

会報誌「霞城」  
第一号の発行

広報副委員長 石井孝美



平成29年1月17日に新規に設立され、早3ヶ月が経ちました。各単会の皆様からは厚いご支援を賜っており心よりお礼を申し上げます。さて、この度当会は待望の会報誌を発行させていただきました。紙面は会のカラーであるワインレッドを基調に、題字は菅野会長の直筆です(ゴーストライターは使っていません)。第一号では今年度の役員21名を紹介しております。私を含め役員の大半が倫理法人会へは初入会の方々ですので、皆様是非一度拝読いただき、お見知り置き下さいますようお願い申し上げます。また、次号より随時当会会員をご紹介して参ります。



今後2ヶ月毎に発行していく予定ですが、少しでも多くの会内情報を発信しながら、一人でも多くの方にモーニングセミナーへ参加していただくように頑張つて参りますので、どうぞご指導の程宜しくお願い申し上げます。

山市  
倫理法人会  
イベント報告

山市倫理経営  
講演会

副専任幹事 熊谷俊彦



平成29年4月13日、山市の月岡ホテルを会場に倫理経営講演会が開催されました。今回も総勢100名を超える方からのご参加を頂きました。事業体験報告では、茨城県古河・境倫理法人会会長兼法人レクチャラーの石川力様より「倒産寸前のお茶屋から葬祭業への転換日誌」というテーマでご講演頂きました。講演の資料として配布した封筒には、来場者全員分一枚一枚にメッセージが手書きで書かれてありました。倫理の実践を目の当たりにし感服の思いでした。講演からは、家族は自分を支えてくれる大きな力になっている事、感謝する気持ちを根付かせていく事が経営の根幹だということに改めて気づくことができました。

また倫理研究所 特別研究員 鳥越等様からは「大転換の時代「新」に挑む」というテーマで講演いただきました。純粹倫理は実行によって直ちに正しさが証明できる。このことを講演参加者にゲーム形式で伝えるなど、実践の効果を肌で感じることで、多くの学びを得た講演会となりました。

寒河江市  
倫理法人会  
倫理実践の報告

社風を変えた  
朝礼

広報委員長 開沼弘男



弊社の朝礼は倫理法人会の教えを基に、毎朝社員が交代で『職場の教養』を読み上げ自分の感想を発言し、指揮を執りながら進めております。当初の頃は挨拶も小声で自信が持てない様相でしたが、今では全員が活力溢れんばかりの勢いで見違えるほどになりました。また社内において『整理・整頓・清掃・清潔・躰』を5S活動とし、各部署ごと組織編成し維持、習慣化、定着化に努めております。やはりこちらも当初は抵抗感が有り、なかなかスムーズに実践できず成果が見えませんでした。しかし継続することにより、全員の意識改革と実践行動が実を結び、社内での評価が向上し表彰を頂くまでになりました。

何事も一足飛びで成し得ませんが、自分の最終目的を据え、成し遂げるために目標を定め、迷うことなく邁進する事が最大の近道であることを倫理を通し教えられました。



鶴岡市  
倫理法人会  
イベント報告

大成功  
倫理経営講演会

広報委員長 北風秀明



鶴岡市倫理法人会主催の倫理経営講演会が、4月5日に行われました。今年は法人局法人スーパーバイザーの河野武彦氏をお迎えし、「大転換の時代「新」に挑む」と題して講演していただきました。河野氏は埼玉県の草加市で餅の製造販売をなされていますが、時代の変化で草加市の同業者は減少しているそうです。その中でも、体験型の施設を作つて煎餅の魅力を発信したり、新たに東京の銀座にお店をオープンしたりとチャレンジを続けられています。ピンチをチャンスに変えるためには経営者の心が大切だと話されたのが印象に残りました。

講演前には株式会社ひまわりの皆さんによる朝礼実演も行われ、心を一つにする朝礼の大切さを実感しました。180人を超える方々に参加いただき、会場は一杯になりました。

最上  
倫理法人会  
倫理実践の報告

倫理指導を受け  
良かった!!

広報委員長 小屋茂



倫理指導を受けたことはありますか？私は幾度も受けました。何度も受け、いつも同じ指導でした。会社経営が窮した時も同じ指導でした。十数年前に離婚し、息子達とは絶縁状態で居所さえわかりませんでした。仕事が上手くいかないのは、息子達との縁を絆ぐことと言われました。しかし、どこに居るかは息子の友達に聞くことができず、なかなか手紙を書いても渡すまで時間がかかりました。二年間ほどかかりました。その間も倫理指導を受けましたが、指導は同じでした。手紙を出したのには、返事が来ませんでした。やはり、出すんじゃなかったと思つていたところ、次男が訪ねて来ました。突然の事で、何を話して良いのかわかりませんでした。それから、度々訪れ、長男一家にこの春に会いに行きました。十数年ぶりに家族に会い、仕事に頑張ると思えます。何か一歩前に進むと思つている方、倫理指導を受けましょう。必ず背中を押して頂け、前進できます。指導を受けるだけでなく、実践しないと進みません。会員は誰でも受けられる倫理指導なので皆さん受けましょう。

酒田市  
倫理法人会  
イベント報告

感動の倫理経営  
講演会

副会長 堀豊明



参加社数95社、参加者167名、うち未会員27社、34名。これが平成29年度倫理経営講演会でした。この度の「倫理」開催にあたり課題となつたのは、未会員の方々へのお声掛けを如何に実践するかでしたので、社数で28%、参加者で20%は大きな成果があつたのではないかと考えます。

事業体験報告では、福島県倫理法人会別府一男相談役より「人生とは選択の連続」をテーマにご講演を頂きました。ご自身は愛媛県松山市生まれなのに、暗く寂しいイメージを持っていた郡山市に永住することになった波乱万丈の人生経験や、東日本大震災での体験で苦難に苛まれた時の心構えとその乗り越え方を教えて頂きました。

続いての講演会では、統一テーマである「大転換の時代「新」に挑む」と題し、(一社)倫理研究所 梶谷益弘理事よりご講話を賜りました。東芝の電化製品を扱う小売店から、四百億円を売り上げる「株式会社芝寿し」への大転換。釘付けされた聴講者の眼は輝いていました。